農家の暮らしを考える会

# 地域の輪から 住みよいむらづくり

これからの農業経営を共に考え、農家の暮らしを豊かなものに――と、今年で五回目を迎える「農家の暮らしを考える会」（主催・南国農業改良普及所）が一月二十四日、社会福祉センターで開かれました。

日ごろ、農業と主婦業にと頑張っている主婦ら約二百五十人が市内、香美郡下から集まり、和気あいあいの中で話し合いました。

まず午前中は、四組の専業農家の夫婦（市内からは、宮崎孝雄・良子さん、小川惇一・えい子さん、徳橋昭俊・三枝さんの三組）が、農業経営、暮らしや後継者づくりの実践などについて意見発表を行いました。参加者は、それぞれの意見にうなずきながら、メモを取って聞き入っていました。午後からは、その発表に基づいてパネル討議に移り、「農家の暮らし」について一日中みんなで考えました。

盛況だった農家の暮らしを考える会

**意見発表では……**

▼スポーツなどを通じ、農家どうしの連帯の輪を広げる▼お酒を飲みながら月一回、農業について語らう場を作った。それぞれの苦労話を聞くことによって地域内のつながりもできたし、脱サラの自分にはとても勉強になった▼父親が趣味を持ち、もっと楽しく農業をやっていれば、それを見て息子もやる気になるのでは▼若い者にも、一つの仕事を任せ責任を持たせてやることが大切……など。

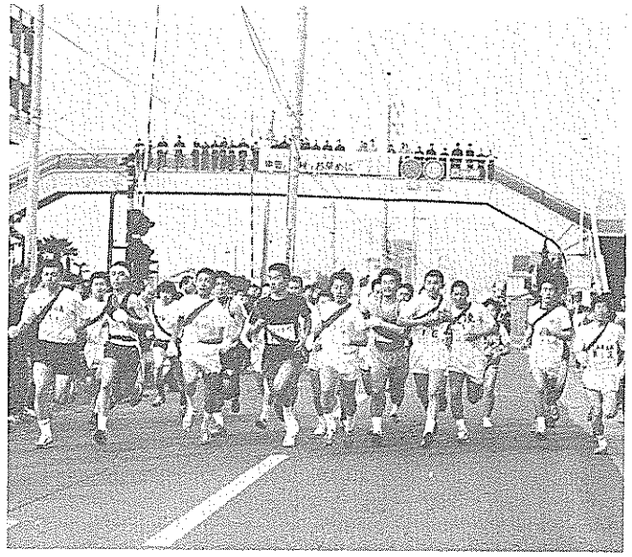
参加者からは「身近な問題について貴重な意見がたくさん聞けて良かった。いつまでも、この会を続けて欲しい」という意見が多く、とても盛り上がっていました。

農業を取り巻く情況は依然厳しいものがありますが、家庭から地域から、みんなが知恵を出し合い、住みよいむらづくりを進めていくことが、まず大切なようです。

# 香長中Aが大会新で優勝

## 女性チームが初参加

### 農協訪問駅伝大会


年々盛んになる農協訪問駅伝のスタート（市役所前）

恒例の「第二十二回農協訪問駅伝競走大会」が二月四日、市内各農協を回る十区間五十二キロのコースに二十五チーム（一般十三、高校・大学一、中学十一）が参加して行われました。

今年は初めて、北陵中が女性チームを編成して参加。また岡豊支所チームも、男性に交じって主婦二人が参加、「来年は、ママさんチームを作ってぜひ出場してみたい」と、とても張り切っていました。

成績は次の通りです。

**《中学の部》**

①香長中A（戸梶、傍士、広瀬、土居、酒井、松本、岡田、井上、吉村、弘光）＝2時間56分1秒（大会新）②北陵中A＝3時間3分33秒③香長中B＝3時間3分59秒④香長中C＝3時間10分16秒⑤香長中D＝3時間11分30秒⑥北陵中B＝3時間14分30秒⑦香長中E＝3時間15分11秒⑧鳥ヶ池中＝3時間19分2秒⑨香南中＝3時間20分40秒⑩希望が丘学園＝3時間23分41秒⑪北陵中C＝3時間40分50秒

**《高校・大学の部》**

①高知高専バレー部（小野、山本、秋山、有岡、田中、川崎、杉本、井上、長山、森下）＝3時間38分

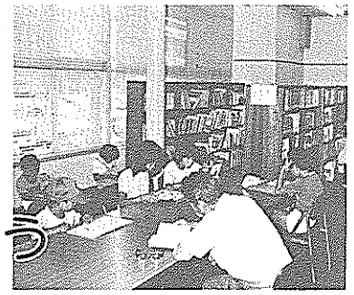
**《一般の部》**

①三和農協A（西村、中村、福井、松木(和)、松木(勝)、広光、松木(幹)、松木(孝)、松木(忠)、岡田）＝2時間59分51秒②大篠支所＝3時間6分55秒③瓶岩体育会＝3時間13分7秒④十市農協＝3時間14分3秒⑤奈路体育会＝3時間15分52秒⑥三和農協B＝3時間16分16秒⑦南国市役所＝3時間18分14秒⑧前浜支所＝3時間19分40秒⑨警察学校＝3時間25分34秒⑩セイレイ工業＝3時間27分48秒⑪稲生支所＝3時間36分5秒⑫岡豊支所＝3時間44分20秒⑬高知ヤンマー＝4時間3分50秒



■ 図書館だより ■

# もっと本に親しもう



市立図書館は開館してはや四年。蔵書数などまだまだ十分とは言えないものの、市民の善意の寄贈で郷土図書もそろい、徐々に充実してきています。また昨年九月から、土曜日午後の開館も始まり、より広く使用していただけるようになりました。

とかく読書の時間が少なくなったと言われる現代人ですが、本は私たちの夢を大きく広げてくれるものです。

市立図書館には、子どもたちの親しみやすい本から今人気の本など、たくさん取りそろえています。家族でお気軽に利用してください。

なお、土曜日午後の開館に伴って、月曜日午後が休館となっていますので、お間違えないように。

## 新刊案内

【一般図書】

写楽殺人事件（高橋克彦）▼新しい敬語（大石初太郎）▼花のきもの（宮尾登美子）▼日本語を豊かに（大村はま）▼日本語の21世紀（樺島忠夫）▼パソコンによる3次元グラフィックス実際（山本強）▼茶道聚錦（熊倉功夫）▼高知県の地名（山本大）▼おしん①②③（橋田寿賀子）▼世界写真全集第9巻▼シルクロード第8巻（陳舜臣）▼黒パン俘虜記（胡桃沢耕史）▼北原泰作部落問題著作集▼広島、長崎の原爆災害▼環境アセスメント年鑑一九八三▼日本民俗文化大系⑤▼二つの祖国㊤㊥㊦（山崎豊子）▼子どものひとりだち、ゆかいな子どもたち、子どもはすばらしい、子育てのこころ（吉岡たすく）▼百（色川武大）▼家族（山口瞳）▼望郷（中島丈博）▼小説財界（清水一行）▼槿（吉井由吉）▼貸金業規制法の解説（大蔵省銀行局）▼おべんとう（主婦の友編）▼着物の仕立て方（野村辰雄）▼この子を残して（永井隆）▼一行物（芳賀幸四郎）▼しつけの禁句、しつけの名句（新村豊）▼彩り河㊤㊦（松本清張）▼インド夢幻（瀬戸内晴美）▼街美ら島は今（山内久）▼生きて行く私㊤㊦▼商人萬歳（藤本義一）▼洋風きょうの料理（飯田深雪）▼和風きょうの料理（土井勝）▼女の顔㊤（平岩弓枝）▼手におえない子（A・アイヒホルン）▼父が消えた（尾辻克彦）▼魯迅と現代（佐々木基一）魯迅雑記（竹内好）▼父よ母よノ㊤㊦（斎藤茂男）▼ナガサキの証言（鎌田定夫）▼魚の履歴書㊤㊦（末広恭雄）▼危険地帯がわかる地名（小川豊）▼性差の文化（青木やよい）▼魚わが友（末広恭雄）▼いい男はみんな結婚している（マリオン・ゾラ）▼東京裁判㊦（朝日新聞）▼小説・東京裁判（豊田穣）▼POPアイデア演出百科（今津次郎）▼新版日本民俗学入門（柳田国男、関敬吾）▼マイストーリー（イングリット・バーグマン）

暮らしの中の国民健康保険

# 私たちの医療費を賄う国保税

## 納期は忘れず完納を

早くも五十八年度も終わりに近づいてきました。

国保税は毎年のこと、九月から翌年二月までの各月を納期としていますが、最終の納期になりますと未納額の多い人々から「もう少し納期を延長して欲しい」「もう少し早くから分割できる納期が欲しかった」……などの声をよく耳にします。

それぞれやむを得ない事情があるとは思いますが、年度内完納について心がけてほしいものです。

三月末は保険証更新の時期になりますが、税が未納となっていますと保険証が送られなかったり、また未納分については督促料、延滞金がかかります。督促料は百円ですが、延滞金は一ヵ月間は年七・三％の割合、その後の期間は一四・六％の割合で計算されます。これは預金利子より高いものとなり、また課税した市側も収納率が低下すると、国の助成金の減額となり翌年度の増税にも結びついてきます。お互いが助け合い運営していく国民健康保険をよく認識していただきたいと思います。

課税時期を早め納期を多くする件については研究中ですが、国保税は所得割、資産割などで課税する関係上、固定資産税が五月、市民税が六月に賦課された後に事務作業に入るため、九月に令書を送り収納にあたっているのが現状です。

また納期を多くすることは納税組合が結成されている場合、組合長さんの事務量をも考慮に入れなければならない面もでてきます。

しかしながら、一日も支払いを遅らすことのできない医療費は、年度当初の二ヵ月間のみ黒字で推移し、後は赤字の連続です。少しでも早い時期に納期を定め、納税についてのご協力をいただくのが絶対条件ですが、いろいろな事情を配慮しつつ比較的に多くの保険者が実施している六回の納期を選んでいるものです。

未納分のある納税者の早期完納をお願いします。

**⊙市民図書館の国保図書ご案内**

働き盛りのストレス管理法▼ハゲの哲学▼目の健康▼とっさのときの救急手当法▼自分でできる健康管理▼貧血と脳貧血▼食べものの衛生▼鼻のアレルギーは治る▼ホルモンと適応▼身近な薬草百種

※意見や質問をお寄せください。

☎(63)2111内線135

【市民課国保係】